

## 赤羽国土交通大臣が通訳案内士について触れました！（国土交通省「大臣記者会見」より）

2020年3月24日（金）赤羽一嘉国土交通大臣会見 9:21 ～ 9:39 国土交通省会見室

<http://www.mlit.go.jp/report/interview/daijin200324.html>

（問）大臣は昨日、新型コロナウイルスの関連で、経済に対する影響について各業界からのヒアリングの場に出席なさったと思うのですけれども、御所感と今後のそれに基づく国土交通省の対応について教えてください。

（答）昨日、第4回の「新型コロナウイルス感染症の実体経済への影響に関する集中ヒアリング」が総理の下開催されまして、私も担当大臣として参加をさせていただきました。

昨日は、運輸、宿泊・観光の分野に関連する業界団体、代表8名の方。出席者は配られていると思います。

出席した業界の皆さまからは、これは国土交通省としてはよく承知をしているところですが、需要減による収入の減少など経営環境が大変厳しくなっていること。特に3月に入ってその需要が激減して、悪化が激しいということ、切迫した状況について大変悲痛な御報告をいただきました。

それとともに要望がございまして、先ほど少し触れたことと重なりますが、雇用調整助成金の助成率の引き上げ、これは9/10の引き上げや日数も増加してほしいという雇用確保対策の更なる強化が1つ、もう1つは既往債務の返済猶予など資金繰り対策の更なる強化です。

これは、新しいセーフティネット貸付・保証は有り難いけれども個別の審査が入り、中小企業が多いのでフルに借りられないこともあり、それとは別に既往債務の返済猶予は大変有り難いという話がございました。

また、そうした雇用調整助成金や融資についての手続きは大変難しいので、簡素化して迅速化していただきたいという声が強くありました。また、固定資産税など公租公課、空港使用料などの各種使用料、そしてNHK受信料などの公共料金の支払猶予や減免措置の求めがありました。そして、各団体おしなべて、事態終息後を見据えた大規模な需要喚起策の実施について、切実な御意見や御要望が出されたところです。

私からは、昨日のヒアリングの場に参加されていない方々の声として、1つはタクシーの運転手さん。これは給与に占める歩合給の割合が高く、旅客の減少が収入の大幅な減少に直結するタクシー運転手さんは大変厳しい状況にあるといったことや、通訳案内士の皆さん。

これは、仕事の全てをインバウンドに依存しているため収入が失われた一方、就学児童がいない、お子さんがもうすでに大きくなっている子が大半なので、十分な支援を受けられていない。

要するに、反転攻勢をするときに、通訳案内士が例えば離職してしまっただけでは、環境インフラが非常に厳しくなるということ、そうした深刻な状況について補足をさせていただいたところです。

今回のヒアリングを通じて、国土交通省所管の業界の皆さんの切実な生の声を、総理始め、資金繰りや雇用確保対策等の制度所管大臣、また関係閣僚、さらには自民党・公明党の政務調査会長などトップレベルで共有できたことは、大変意義深いことだと思っております。

改めてございますが、1日も早い終息に向けてしっかり取り組むとともに、来たるべきときに間髪入れずに反転攻勢の仕掛けができるように、強力な観光需要喚起策を含む効果的な対策に向けて、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

（以上）